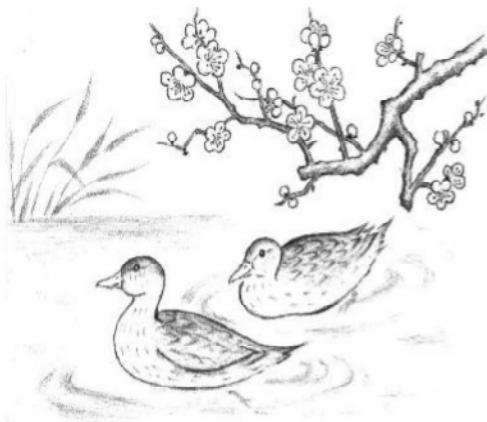


・顯現後第七主日

泉のほとり

水をぶどう酒に



いかに幸いなことでしょう。
主に咎を數えられず、
心に欺きのない人は。

イエスさまは洗礼者ヨハネから洗礼を受け、翌日ペトロたちを弟子となさいました。その翌日、さらに二人を弟子にされます。それから3日目に、カナで行われる結婚式があり、招かれていたイエスさまと弟子たちは結婚式に向かいました。

その結婚式で開かれた宴会の只中、ぶどう酒がなくなつてしましました。この一大事を知ったイエスの母マリアがイエスさまに知らせると、「私とどんな関わりがあるのですか。私の時はまだ来ていません」と言われました。まだご自分を公に表す時ではない、と言われたのです。これまでイエスさまは一度も公の場で不思議な業を行つておらず、救い主のお働きを始められていませんでした。この後結果的に、イエスさまは最初のしるしを行わることとなり、この時からイエスさまは公に業とするしを行い、救い主としてのお働きを始められるのです。イエスさまは、ご自分の時が来ていなければご自分を表さず、ご自分の時が来れば大いに働かれるのです。神に定められた時に応じて、なすべきことをなさるのです。同様に、わたしたちにも定められた時があります。今、自分がどのようない時にあるのかをわきまえ、それぞれの時に応じるべきことをなしていきたいと願うものです。

マリアは召使いたちに「この人が何か言つつけたら、その通りにしてください」と言います。イエスさまが召使たちは言われた通り6個の水がめを水で満たしました。それから「水がめから汲んで、それを世話役に持つて行きなさい」と言われると、その通りにしまし

た。世話役が味見をしてみると、それはそれは美味しいぶどう酒でした。全てを知つていた召使いたちも、一部始終を見ていた弟子たちも、これには本当に驚いたと思います。このしるしを通して、弟子たちはイエスさまが神さまから遣わされた方だと信じたのです。

イエスさまは当たり前のよう、水をぶどう酒に変えられました。人は水がぶどう酒に変わることの奇跡を見かされると驚きますが、私たちは普段からこの奇跡を見ているのではないでしょうか。神さまがぶどう畑に雨を降らせ、ぶどうの種に水を注がれ、芽を出し、成長してぶどうの木となり、ぶどうの実がつきます。水がぶどうに変わっているのです。水が果物やお米、野菜などに変えられて、毎日スーパー・マーケットに並ぶのを見ています。神さまは、イエスさまが水をぶどう酒に変えた同じ御業を私たちにもなしてくださいます。毎日の食卓に並べられているこれらのものが神さまからのしるしです。このしるしを通して、私たちが神さまを信じるようになるためです。そしてこの驚くべき御業によつて養われ、生かされていると信じる人は、水をぶどう酒に変えられたこの主の奇跡に驚かないのではないかでしょうか。イエスさまを通して、水がぶどう酒に変わつたこの出来事は、イエスさまが神さまから遣わされた方であることを証ししています。同じ御業を見て弟子たちがイエスさまを信じたように、この御業を見て弟子たちがイエスさまを信じる、その信仰に生きていきたいと思います。

心に刻む御言葉

新しい翻訳

どうかわったのでしょう

40篇

新共同訳

生まれたばかりの乳飲み子のように、

混じりけのない靈の乳を

慕い求めなきい。

これを飲んで成長し、

救われるようになるためです。

六 いかに幸いなことか、主に信頼をおく人
ラハブを信する者にくみせず
欺きの教えに従わない人は

六 わたしの神、主よ

あなたは多くの不思議な業を
成し遂げられます。

あなたに並ぶものはありません。
わたしたちに対する数知れない御計らいを

わたしは語り伝えて行きます。

協会共同訳

五 幸いな者 主を頼みとする人
ラハブにも、偽りの神に迷う者にも
顔を向けない人。

六 わが神、主よ、あなたは多くのことを
奇しき業と計らいを
私たちのために成し遂げられた。
あなたに並ぶ者はありません。
私がそれを語り伝えようにも
おびただしくて数えきれません。

(ペテロの手紙一 2章2節)

新改訳2017

四 幸いなことよ 主に信頼を置き

高ぶる者や
偽りに傾く者たちの方を向かない人。
わが神主よなんと多いことでしょう。
あなたがなさった奇しいみわざと
私たちへの計らいは。

あなたに並ぶ者はありません。
語ろうとしても告げようとしても
それはあまりに多くて数えきれません。

《今日のお知らせ》

○「レントのご挨拶」とイースター献金袋を状差し

に配布しましたのでご覧ください。今年は今週二

二日（水）にレントに入ります。

○午後十二時四十五分より定例役員会を開催します。
役員の方はご参集ください。

○午後四時より、聖書の学び会をリモートで開催します。どうぞご参加ください。

○二月二十四日(金)一〇時三〇分～十二時、シオンの
会がオンラインで開催されます。吉村名誉牧師先
生がお書きになつた「聖書が教える世界とわたし
たち」の三十五ページ(2)「混沌の中の光」から読
みます。参加をご希望の方は川越啓子姉までご連
絡ください。

《役員会より》

三月二十六日の第二礼拝後（二時二〇分目処）、
「証しと祈りの会」を開催いたします。発表者は六
名です。発表を申し込まれなかつた方は昨年同様、
受けた恵みをお書きいただきご提出ください。原
稿用紙二枚（八〇〇字）以内でお願いします。メー
ルでの提出も受け付けます。アドレスは「tenit@g
loria-chapel.com」です。

今日の讃美歌 現代語訳

今日の聖書クイズ

《今後の予定》

讃美歌230番

1. 天地をお造りになつた命の御神の尊い御業は今も終わらない

2. 「今も終わらない御業にあずかつてひたすら励め」と御神はおつしやる

3. 主の御前に重ねた罪をとがめもなさらず

御国のまばろしお示しくださる

4. 御国への道は遙かに遠いが

私達は切に祈り願う

5. 終わりの勝利を雄々しく望み
雨にも風にもひるまず、励んでいこう



- A ベトサイダ
- B ベタニア
- C ベツレヘム
- D エルサレム

(答) ヨハネによる福音書1章44節と聖書の

後方の地図「6新約時代のパレスチナ」
をご覧ください。

《次週の礼拝》

● 第一礼拝（午前9時30分）

讃美歌 小さい子どもの 小さい羊
説教 「タリタ、クム」

聖書 マルコ5章21～43節

説教者 富間 彰広兄

● 第二礼拝（午前11時）

讃美歌 137番 239番

説教 「いつまでどつちつかずに」

聖書 列王記上1～8章16～24節

説教者 黄允湜牧師

○二月二十二日(水) レント入り

○三月五日(日) 教会員懇談会(総会準備)

○三月十二日(日) 定例役員会

○三月十四日(火) 附属幼稚園卒園式
○三月十九日(日) 三月総会

第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 小さい子どもの 小さい羊
説教 「隣人を自分のように愛しなさい」
聖書 ルカ10章25~37節(新約P126)
司式 石川一兄
聖餐司式 黄允湜牧師・菊池美穂子副牧師
説教者 菊池美穂子副牧師

前奏曲 「救いは我らに来たりぬ」 J.S.バッハ

○讃美歌「小さい子どもの」

1. 小さい子どものサムエルは 神さまの呼ぶ声
聞きました サムエルよ サムエルよ
 2. 小さい声で今日もまた 神さまのよぶこえ
聞こえます ぼくのなまえも わたしのも
「しもべはききます。主よ、お話しください」
- アーメン

○讃美歌「小さい羊が」

1. 小さい羊が いえをはなれ
ある日とおくへ あそびにいき
花さくのはらの おもしろさに
かえるみちさえ わすれました
2. けれどもやがて よるになると
あたりはくらく さびしくなり
うちがこいしい ひとつじはいま
声もかなしく ないでいます
3. なきのふかい ひとつじかいは
このこひつじの あとをたずね
とおくのやまやま たにそこまで
まいごのひつじを さがしました
4. とうとうやさしい ひとつじかいは
まいごのひつじを みつけました
だかれてかえる このひつじは
よろこばしさに おどりました アーメン

聖餐曲「アヴェ・ヴェルム・コルプス」G.フォーレ

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 77番 230番
説教 「地の上に雨を降らせよう」
聖書 列王記上18章1~15節(旧約P562)
司式 石川一兄
聖餐司式 黄允湜牧師・菊池美穂子副牧師
説教者 黄允湜牧師

前奏曲 「ソナタ第1番第1楽章」 J.S.バッハ

○讃美歌77番

○讃美歌230番

聖餐曲「アヴェ・ヴェルム・コルプス」G.フォーレ

後奏曲 「フーガニ長調」F.メンテルソーニ

*礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

後奏曲 「フーガニ長調」F.メンテルソーニ